



平成24年6月4日

特定健診・保健指導の普及および推進
—協会けんぽの事例—

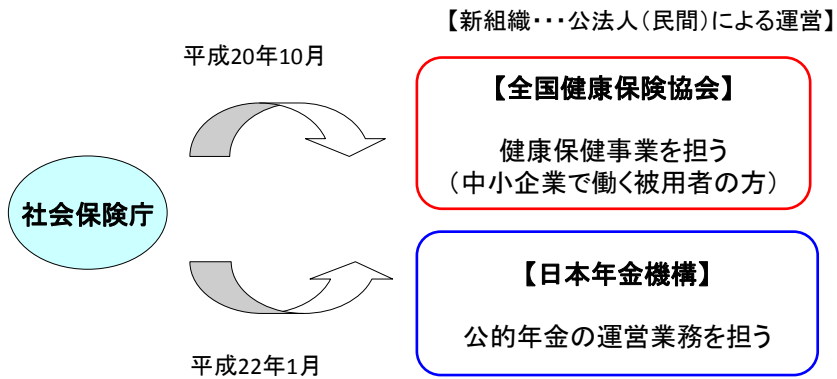
全国健康保険協会
保健第二グループ長
六路 恵子

 全国健康保険協会

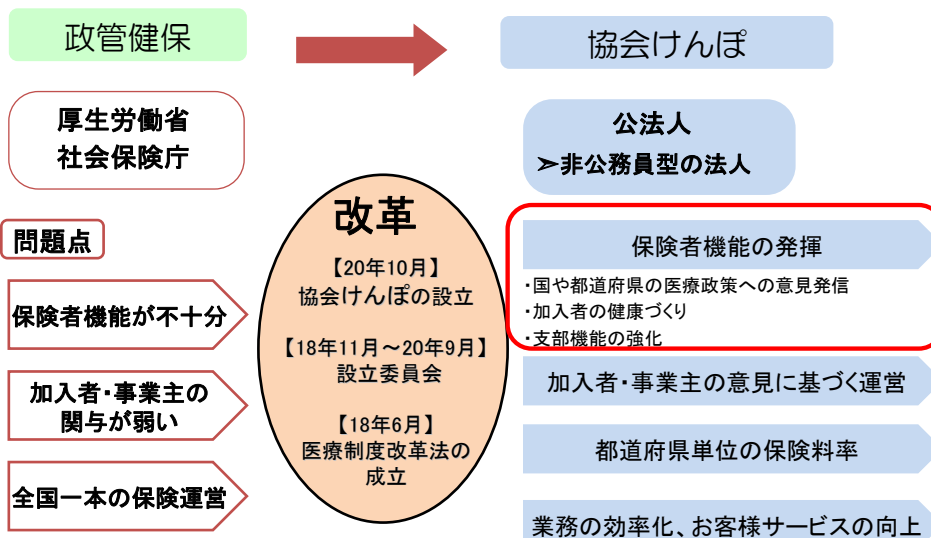
協会けんぽの概要

 全国健康保険協会

**全国健康保険協会は、平成20年10月に政府管掌健康保険を
国から引き継ぎ、スタートしました**



協会けんぽの設立の背景・趣旨



医療保険者別加入状況

○協会けんぽは、日本最大の健康保険を運営する保険者である
 ○協会けんぽは、161万事業所で働く従業員の方とご家族
 （約3,500万人）の健康を支えている

加入者	制度	保険者名	加入者数	保険者数	保険料率
サラリーマン とその家族	全国健康保険 協会管掌 健康保険	全国康保険協会 (協会けんぽ)	3,479万人 161万事業所	1	平均 10.0%
	組合管掌 健康保険	健康保険組合	3,086万人 13万事業所	1,518	平均 7.93%
自営業者等	国民健康保険	市区町村	4,688万人	1,804	
公務員等と その家族	共済組合	共済組合	937万人	77	国共済 平均 7.06%

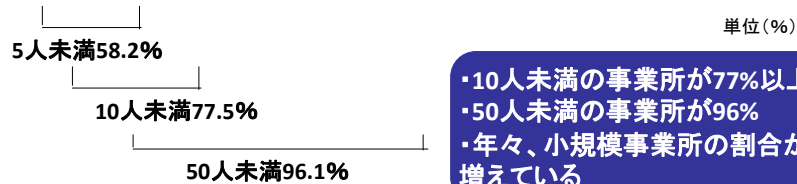
※加入者数；協会けんぽは、平成21年9月末現在。その他は、平成20年3月末現在

※保険料率；協会けんぽは平成24年平均、組合は平成23年度予算平均、共済は平成22年度国共済平均

協会けんぽの適用事業所の概要

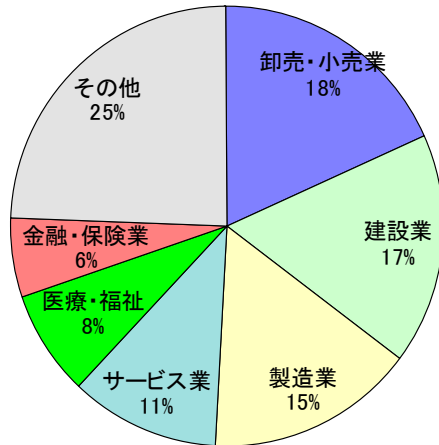
(1) 被保険者数別事業所の割合

年度	被保険者数										
	3~4人	5~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~99人	100~299人	300~499人	500~999人	1000人以上	
平成19年	36.3	18.4	21.0	12.5	4.3	3.3	2.4	1.4	0.2	0.1	0.0
平成20年	39.2	17.6	19.9	11.9	4.1	3.2	2.4	1.3	0.2	0.1	0.0
平成21年	40.8	17.3	19.3	11.5	4.0	3.1	2.3	1.3	0.2	0.1	0.0



協会けんぽの適用事業所の概要

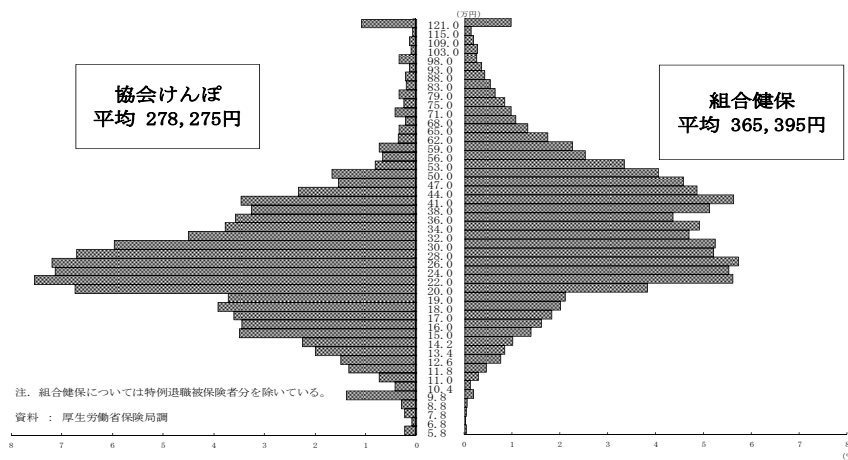
(2) 業態別事業所の割合



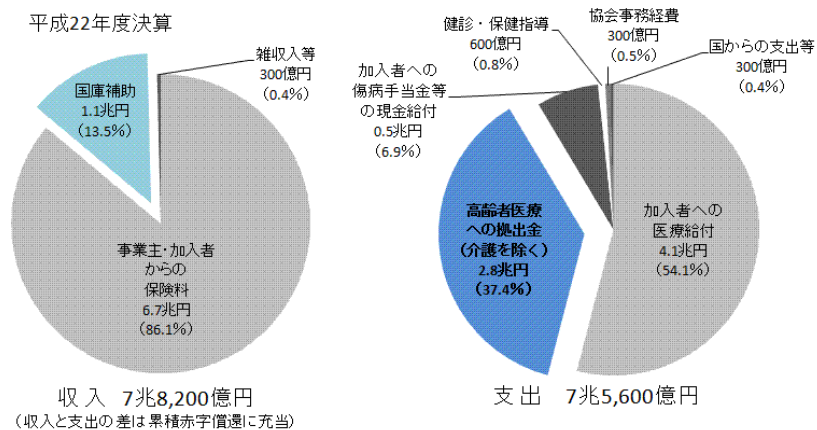
・現場作業の人が多い
・業種により、働き方や健康課題が違っている

協会けんぽの適用事業所の概要

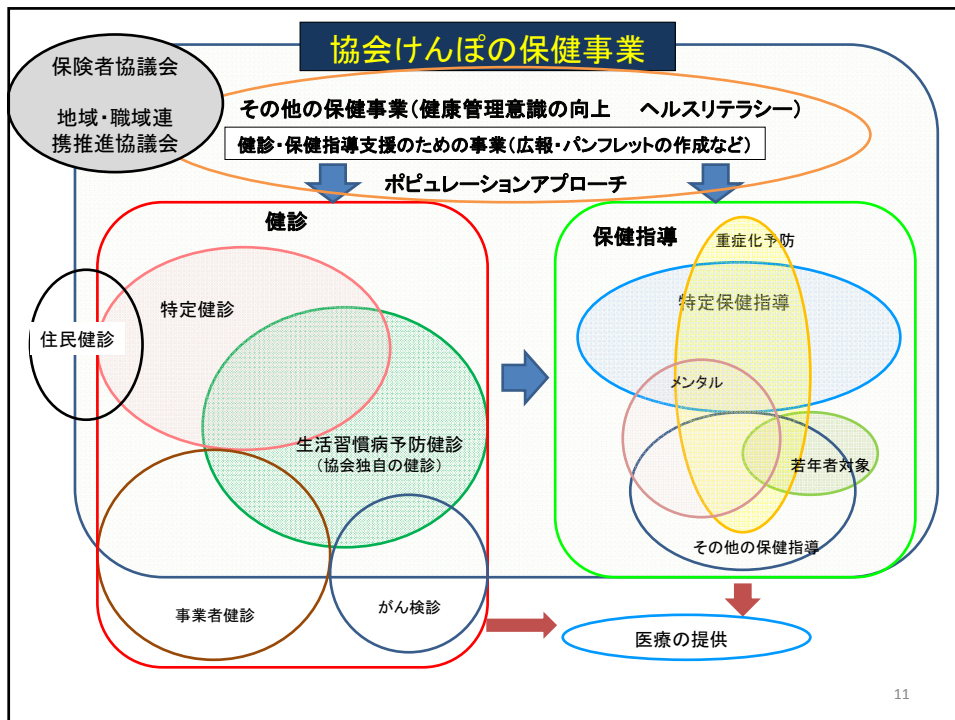
(3) 標準月額報酬の比較



協会けんぽの22年度決算状況



協会けんぽの保健事業と 特定健診・保健指導の推進策



協会けんぽで取り組む保健事業(1)

特定健診・特定保健指導

- ・生活習慣病予防健診の費用を一部協会が負担している。
- ・協会保健師800人が事業所訪問を中心に特定保健指導を行っている。
- ・外部保健指導機関への委託も進めている。

健康職場づくりへのアプローチ

- ・個別相談や健診結果等から得た事業所の課題について、戦略的に事業主にアプローチをして健康職場づくりを働きかけている。
- ・広報、相談、各種事業等を推進していくために、各事業所で健康保険委員の委嘱を進めている。(23年3月末には約66,000人)

協会けんぽで取り組む保健事業(2)

非肥満者に対する保健指導

・事業所訪問による特定保健指導の際に、特保非該当でリスクがある者に対して保健指導を行なっている。

未受診者及び治療中の者に対する保健指導

・優先度の高い受診勧奨対象者に対して、受診の勧奨をしている。
 ・治療中の者に対する保健指導は、パイロット事業として実施している。

若年者に対する保健指導

・事業所訪問による特定保健指導の際に、若年者でリスクがある者に対して保健指導を行なっている。

特定健診・特定保健指導の概要

	特定健康診査		特定保健指導
被保険者	生活習慣病 予防健診	契約機関で受診し、健診費用の一部を協会が負担（平成22年度は2,620機関と委託契約）	・協会けんぽの保健師等（支部保健師約80人、契約保健師約700人）が事業所訪問による保健指導を中心に実施 ・外部保健指導機関に委託をして実施（22年度261機関と契約）
	事業者健診	事業者に依頼して、健診結果を提供していただく	
被扶養者	特定健康診査	集合契約及び個別契約により実施	集合契約及び個別契約により外部保健指導機関で実施

特定健診・特定保健指導の実績

項目		20年度実績	21年度実績	22年度実績 (速報値)
特定健康 診査	対象者数	1,206,629	13,095,190	13,202,395
	受診者数	3,804,147	4,100,573	4,560,178
	受診率	29.5%	31.3%	34.5%
特定保健 指導	対象者数	805,279	847,652	929,904
	対象者の割合	21.2%	20.7%	20.4%
	終了者数	25,174	61,635	67,471
	終了者の割合	3.1%	7.3%	7.3%

経年データの活用と情報の共有を図ったシステム管理

○協会保健師等による保健指導

5年間の健診結果と保健指導記録を活用した保健指導

保健指導 支援システム

- ・過去5年分の健診結果を表とグラフで表示
- ・生活習慣をレーダーチャートで表示
- ・事業所ごとの健診結果統計、生活習慣統計をグラフで表示
- ・生活習慣、既往歴・現病歴・家族構成、目標設定、指導者所感などの記録
- ・特定保健指導のスケジュール管理機能

【事前準備】

・過去5年分の健診結果と保健指導記録の確認、課題の整理、支援計画の立案

・事業所統計、生活習慣統計、事業所の健康課題等の確認と支援計画の立案

【保健指導の実施】

・行動変容ステージに基づく支援
・上位目標、下位目標、具体策の設定
・スモールチェンジを目指す保健指導

【事業所へのアプローチ】

・事業所の健康課題について担当者と話合い

【保健指導の記録】

生活習慣、既往歴・現病歴・家族構成、目標設定、指導者所感、支援スケジュール

【訪問して得られた事業所情報のまとめ】

職場環境、労働条件、職場の雰囲気、人間関係、今後の支援課題など

○外部保健指導機関への委託

外部保健指導機関と個別契約を結び、健診当日または事業所訪問を中心に実施

○事業主に対する健診・保健指導の勧奨

事業所
健康診断書

健診結果データと医療費データを活用し、事業所ごとに健診結果統計と医療費統計を集計できるシステムを構築して、事業所勧奨に活用

○保健指導の案内及び健康職場づくりへのアプローチ

受診勧奨支
援システム

《搭載情報》

- ・業種・従業員数など基本情報
- ・健診受診状況
- ・保健指導利用状況
- ・外部委託機関による保健指導実施状況
- ・訪問可能時期や時間、訪問場所、考慮すべき勤務シフトなど訪問に不可欠な情報
- ・事業所の課題と解決策、支援状況 など

特定健診・保健指導の普及・推進策

(1) 加入者や事業主に対する普及・啓発活動

○事業主に対する普及・啓発活動

- ・事業主との距離を近づけるために事業所に伺い、健診・保健指導の勧奨を行なう

○加入者や事業主の意識、意見を把握し、反映した活動

- ・事業所訪問により生の声を聞いたり、様々な機会に意識、意見を把握して事業展開に活用する

○効果的な広報活動

- ・業種や働き方に応じた保健指導の広報
- ・ホームページやメールマガジンを活用した広報
- ・特定保健指導の実践方法と効果のアピール

○レセプト・健診データを活用した事業主等への情報提供

- ・事業ごとの医療費、健診結果を提供
- ・医療費や保健指導の効果に関する情報の発信

いきいき健康 Q&A 「メタボは嫌！ 依田さんの挑戦」

初回オンエア



▲7月21日撮影/体重74キロ、ウエスト85センチ前

■依田さん
目標は体重が69キ
ロ、ウエストは79セ
ンチのズボンを履
けるようになりたい
ですね

□中澤アナ
依田さん、夜中にま
んじゅう食べちゃダメ
ですよ！

★神田さん

依田さんはお菓子が大好きで(笑)、夕食後にもお菓子を食べたりしていることをお聞きして、トータルで見直しをすることをアドバイスさせていただきました。



6ヶ月後オンエア

★神田さん

良く落とされたと思います。無理をしてではなくゆるやかな落とし方ですから、まさしく理想的な減量の仕方じゃないでしょうか。

□中澤アナ

す・ば・ら・し・い(大声で)！ ちなみにお腹回りの方は？

■依田さん

お腹回りは、85センチから82センチのズボンになっています。

□中澤アナ

3センチダウン！ ベルトの位置は変わりましたか？

■依田さん

だいぶ変わってユルユルで、この前もベルトを2センチぐらい切ったんですよ。でも、まだユルいみたいなの…



□中澤アナ

そーれは凄いつ！ 嬉しいでしょうねえ、依田さん。

■依田さん

そうですねえ、スッキリした感じが嬉しいです。

□中澤アナ

神田さん、“金メダル”でよろしいですか？

★神田さん

はい、まさしく“金メダル”を首にさげての卒業ですね！

■依田さん

か、神田さん、ちょっと言い過ぎじゃないですか(嬉しそうに)。

特定健診・保健指導の普及・推進策

(2) 「特定保健指導」商品の開発

○特定健診・保健指導を受ける機会、場の拡大

- ・身近な場（公民館やショッピングセンター等）で集合健診の実施
- ・健診当日保健指導を行なえる外部委託機関の拡大
- ・土曜日・夜間保健指導を行なう場の設置
- ・身近な場（公民館やショッピングセンター等）で保健指導の実施
- ・ITツールの活用による利用機会の拡大

○特定保健指導の実施方法の見直し

- ・担当制とリレー制の効果的な活用
- ・効果的な保健指導パターンの構築
- ・2年目、3年目に続けて特保に該当した方への仕組みづくり
- ・支援終了後の自己管理のための仕組みづくり

特定健診・保健指導の普及・推進策

(3) 保健指導スキルの向上

支
部
内
研
修
会
採
用
時
研
修

- ・面接技術
- ・文章力
- ・情報化対応力

保健指導に必要な力

基本的に必要な力

- ・自己管理能力
- ・役割、課題認識能力
- ・対人能力

全国研修会

全国研修会

- ・分析能力
- ・企画立案能力

新たな課題に対応する力

リーダーに望まれる力

- ・目標管理能力
- ・人材育成能力
- ・危機管理能力
- ・マネジメント力

全国研修会

○保健指導の質の標準化

- ・保健指導マニュアルの作成と活用の徹底
- ・行動変容ステージに沿った目標設定と支援
- ・明確な目標設定
- ・定期的に、ロールプレイ、事例検討を実施
- ・情報交換を随時実施

目標設定

- ①上位目標と下位目標、具体策の設定と一貫性
- ②回数、量を明示した評価可能な目標設定
- ③生活習慣を目標にする

特定健診・保健指導の普及・推進策

(4) 健康づくり事業の推進

○事業所で取り組む健康づくりの支援

- ・福寿うちな～運動
- ・DoさんこDonDon (道産子ドンドン) ウォーキング

○参加型健康づくり運動

- ・ヘルシーレシピの公募とホームページでの公表
- ・フットサル大会、ウォーキング大会等の開催

○他の保険者や地域との連携

- ・地域と連携したがん検診の同時実施
- ・地域及び国保と連携した特定健診、特定保健指導
- ・保険者協議会で共同健診の実施

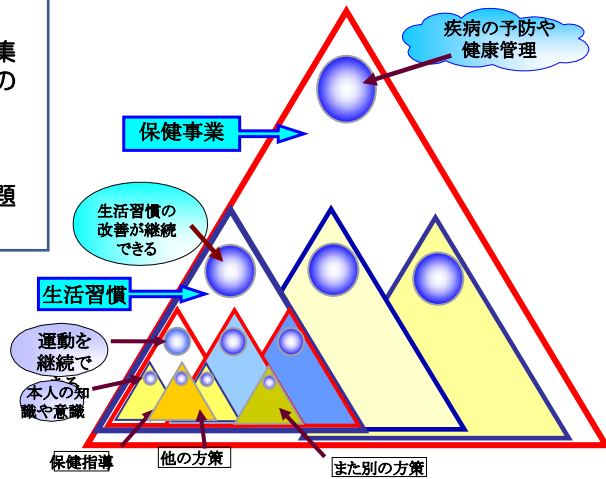
特定健診・保健指導の普及・推進策

(5) 企画力・マネジメント力の向上

・個別支援（特定保健指導、その他の保健指導）から、集団（事業所・地域）の課題の抽出、明確化

・健診・保健指導・医療費データから、現状分析と課題の抽出、明確化

事業所や地域の健康づくり施策をつくる力

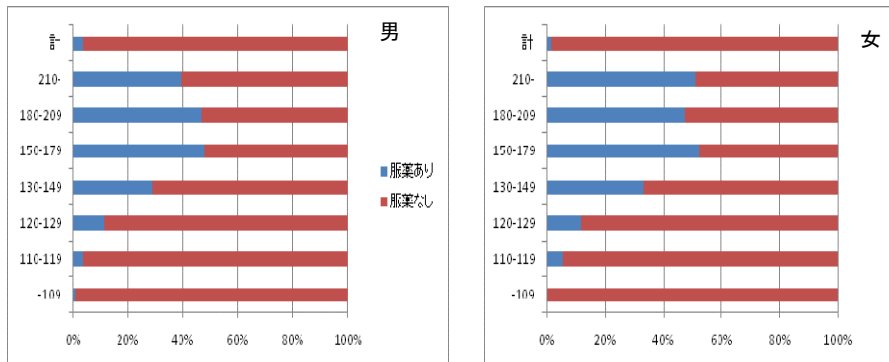


健診結果と医療費データを活用した分析

服薬の有無別 健診結果の状況

(平成20年度生活習慣病予防健診受診者)

収縮時血圧



※平成20年度の1年間、協会けんぽ(政府管掌健康保険)に継続して加入した35歳以上の被保険者を集計対象としている。
 ※健診は平成20年度の生活習慣病予防健診(一般健診、付加健診)のことである。
 ※健診受診者の割合は年齢階級別の注1の被保険者数に対する健診受診者数の割合である。

過去3年間の健診受診回数別の分析

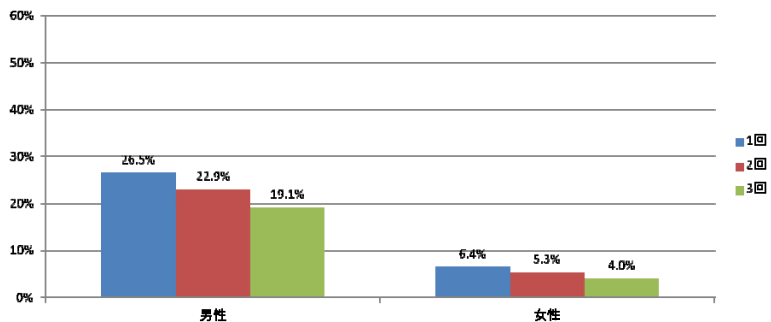
(平成20~22年度の健診受診率が85%以上の事業所の35歳以上の被保険者を対象としている)

・リスク保有の状況

・平成22年度の健診受診者の22年度を含めた過去3年間の健診受診回数別に22年度のリスク保有の状況をみると、女性の脂質を除いて、男女ともに健診回数が多いほどリスク保有割合が低くなっている。

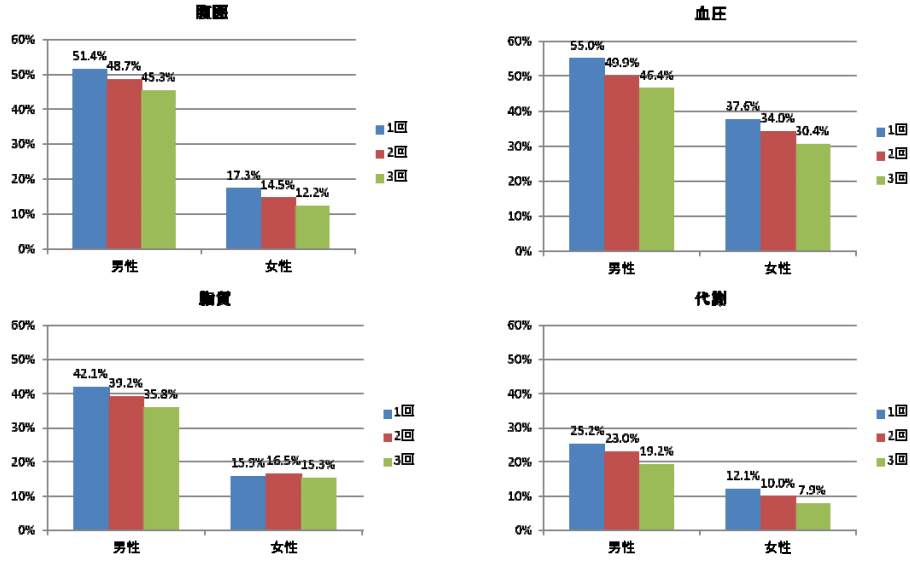
※各リスク別(5パターン)×性別(2パターン)の10パターンごとに、健診受診回別のリスク保有割合についてのカイ2乗検定を行い、差がない確率はすべて1%未満であり、有意差があることを確認している。

平成22年度の健診受診者の過去3年間の健診受診回数別リスク保有状況
 (平成22年度、年齢調整後)
 メタボリックリスク



※平成20~22年度の健診受診率が85%以上の事業所の被保険者を集計対象としている。
 ※当該リスクの判定に必要な健診結果が不明である者を除いている。

平成22年度の健診受診者の過去3年間の健診受診回数別リスク保有状況(平成22年度、年齢調整後)

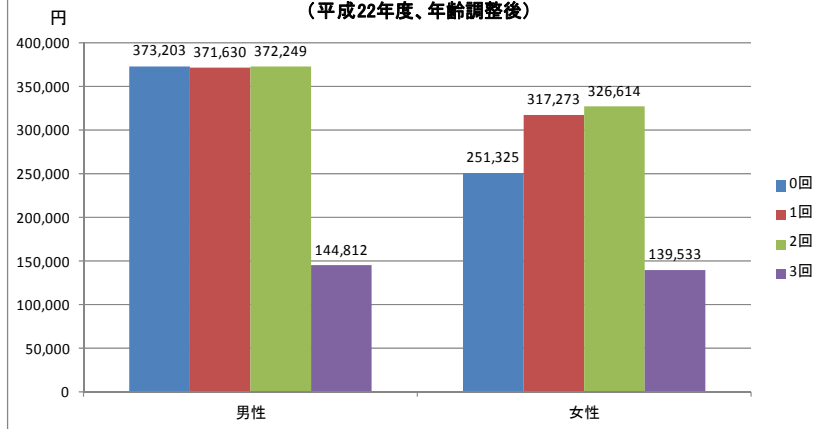


※平成20～22年度の健診受診率が85%以上の事業所の被保険者を集計対象としている。
 ※当該リスクの判定に必要な健診結果が不明である者を除いている。

・医療費の状況

- ・過去3年間の健診受診回数別の医療費(調剤分を含む)をみると、男女ともに3回の者の医療費が低く、1回と2回の者の医療費は同程度となっている。
- ・0回の者の医療費は、男性は1～2回の者と同程度であるが、女性は1～2回の者より低く、男女の差が大きくなっている(P19表2-1参照)。

図2-2 過去3年間の健診受診回数別の1人当たり医療費
(平成22年度、年齢調整後)

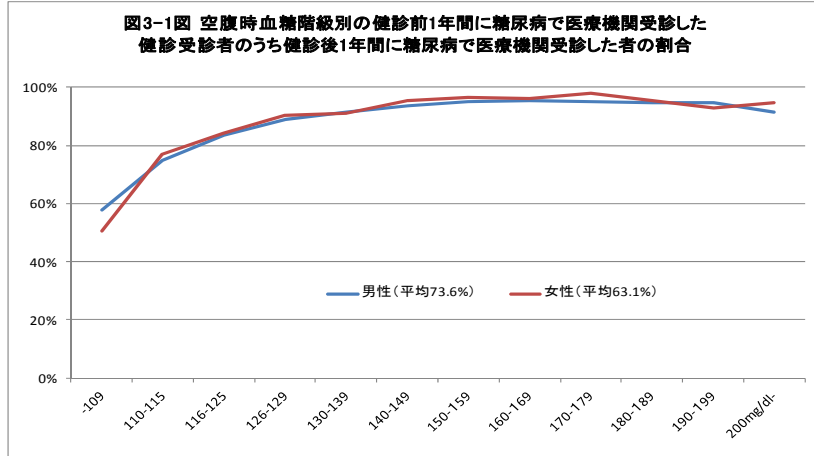


※平成20～22年度の健診受診率が85%以上の事業所の被保険者を集計対象としている。

健診受診前後の医療機関受診の分析

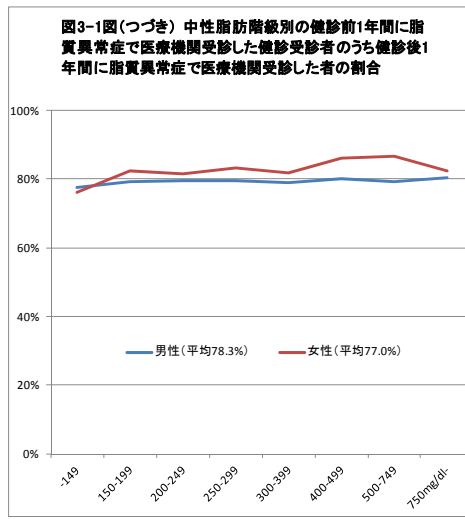
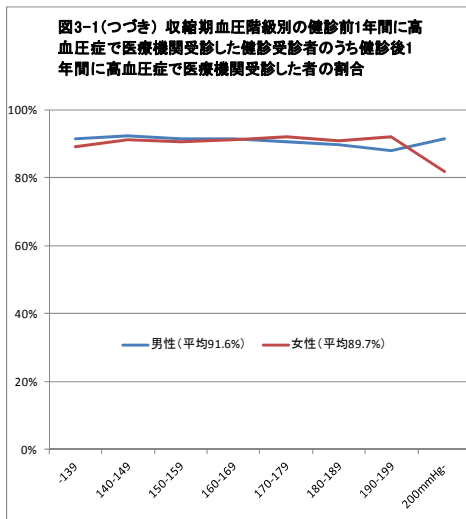
・健診前に医療機関受診が有る者の健診後医療機関受診の状況

・空腹時血糖階級別に健診前1年間に糖尿病で医療機関受診した健診受診者のうち健診後1年間に糖尿病で医療機関受診した者の割合をみると、男女で大きな差はなく、空腹時血糖がコントロールされていると考えられる109mg/dl以下の階級で50～60%程度と最も低く、階級が高くなるに従い高くなり、140以上の階級で90%台半ばとなっている。



※平成21年9～11月の健診受診者を集計対象としている。
 ※医療機関受診は入院、入院外を対象としている。

・P20と同様に高血圧症についてみると、男女で大きな差はなく、多くの収縮期血圧階級において90%程度となっている。
 ・同様に脂質異常症についてみると、男女ともに80%程度となっており、150mg/dl以上の階級で女性の方がわずかに高くなっている。



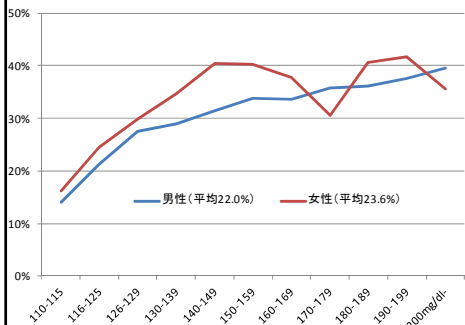
※平成21年9～11月の健診受診者を集計対象としている。
 ※医療機関受診は入院、入院外を対象としている。

・健診前に医療機関受診が無い者の健診後医療機関受診の状況

- ・空腹時血糖階級別に健診前1年間に糖尿病での医療機関受診がない健診受診者のうち健診後1年間に糖尿病で医療機関受診した者の割合をみると、男女とも階級が高くなるに従い上昇しているが、女性の方が男性よりも傾きが急であり、空腹時血糖が140-159mg/dl、180-199で40%に達しており、男性は200以上で40%程度となっている。(図3-2)
- ・年齢階級別に健診前1年間に糖尿病での医療機関受診がない空腹時血糖150mg/dl以上の健診受診者のうち健診後1年間に糖尿病で医療機関受診した者の割合をみると、計で37.0%であり、年齢階級が高くなるに従い上昇している。(表3-1)

空腹時血糖

図3-2 空腹時血糖階級別の健診前1年間に糖尿病での医療機関受診がない健診受診者のうち健診後1年間に糖尿病で医療機関受診した者の割合



※平成21年9～11月の健診受診者を集計対象としている。
※医療機関受診は入院、入院外を対象としている。

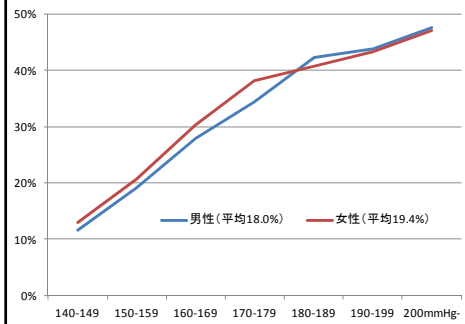
表3-1 年齢階級別の健診前1年間に糖尿病での医療機関受診がない空腹時血糖150mg/dl以上の健診受診者のうち健診後1年間に糖尿病で医療機関受診した者の割合

	男女計		②÷①
	健診受診者数 ①	医療機関 受診者数②	
35-39	1,249	379	30.3%
40-44	1,675	526	31.4%
45-49	2,112	763	36.1%
50-54	2,620	1,002	38.2%
55-59	2,818	1,064	37.8%
60-64	1,744	733	42.0%
65-69	492	221	44.9%
70-	97	49	50.5%
計	12,807	4,737	37.0%
平均年齢(歳)	52.1	52.9	-

- ・収縮期血圧階級別に健診前1年間に高血圧症での医療機関受診がない健診受診者のうち健診後1年間に高血圧症で医療機関受診した者の割合をみると、男女で大きな差はなく、収縮期血圧階級が高くなるに従い上昇し、200mmHg以上で男女とも50%弱となっている。(図3-2)
- ・年齢階級別に健診前1年間に高血圧症での医療機関受診がない収縮期血圧180mmHg以上の健診受診者のうち健診後1年間に高血圧症で医療機関受診した者の割合をみると、計で43.4%であり、年齢階級が高くなるに従い徐々に上昇している。(表3-1)

収縮期高血圧

図3-2(つづき) 収縮期血圧階級別の健診前1年間に高血圧症での医療機関受診がない健診受診者のうち健診後1年間に高血圧症で医療機関受診した者の割合



※平成21年9～11月の健診受診者を集計対象としている。
※医療機関受診は入院、入院外を対象としている。

表3-1(つづき) 年齢階級別の健診前1年間に高血圧症での医療機関受診がない収縮期血圧180mmHg以上の健診受診者のうち健診後1年間に高血圧症で医療機関受診した者の割合

	男女計		②÷①
	健診受診者数 ①	医療機関 受診者数②	
35-39	343	128	37.3%
40-44	534	224	41.9%
45-49	751	326	43.4%
50-54	1,028	435	42.3%
55-59	1,214	522	43.0%
60-64	938	442	47.1%
65-69	294	144	49.0%
70-	71	25	35.2%
計	5,173	2,246	43.4%
平均年齢(歳)	53.8	54.2	-

- ・中性脂肪階級別に健診前1年間に脂質異常症での医療機関受診がない健診受診者のうち健診後1年間に脂質異常症で医療機関受診した者の割合をみると、女性の方が男性よりも高く、男女とも階級が高くなるに従い緩やかに上昇している。(図3-2)
- ・年齢階級別に健診前1年間に脂質異常症での医療機関受診がない中性脂肪300mg/dl以上の健診受診者のうち健診後1年間に脂質異常症で医療機関受診した者の割合をみると、計で17.2%であり、年齢階級が高くなるに従い上昇している。(表3-1)

中性脂肪

図3-2(つづき) 中性脂肪階級別の健診前1年間に脂質異常症での医療機関受診がない健診受診者のうち健診後1年間に脂質異常症で医療機関受診した者の割合

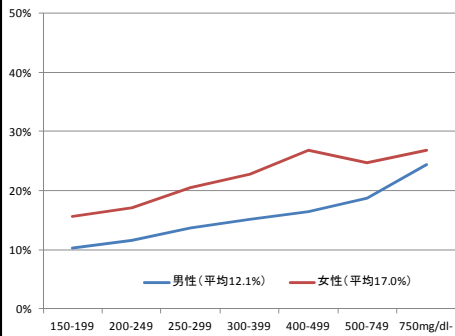


表3-1(つづき) 年齢階級別の健診前1年間に脂質異常症での医療機関受診がない中性脂肪300mg/dl以上の健診受診者のうち健診後1年間に脂質異常症で医療機関受診した者の割合

	男女計		②÷①
	健診受診者数 ①	医療機関 受診者数②	
	人	人	
35-39	6,244	793	12.7%
40-44	6,972	1,031	14.8%
45-49	7,003	1,194	17.0%
50-54	6,149	1,128	18.3%
55-59	4,835	989	20.5%
60-64	2,363	577	24.4%
65-69	587	158	26.9%
70-	90	32	35.6%
計	34,243	5,902	17.2%
平均年齢(歳)	48.3	50.0	-

※平成21年9～11月の健診受診者を集計対象としている。
 ※医療機関受診は入院、入院外を対象としている。